

令和3年第1回宇治市子ども・子育て会議における委員意見と回答

資料1

意見項目		質問・意見等	回答	シート見直し
1	全体 評価について (複数委員からの意見をまとめています)	対象年齢や対象者が曖昧な事業や、子育て世代以外も含めたような評価となっている事業など、分かりづらいものがある。また実績値の多い、少ない等の量による評価だけでなく、質も含めた評価も重要では。	本計画は、対象年齢を18歳未満までとしておりますが、事業によっては子育て世代に特化したものではない事業や幅広い年代に対し、全市的に取り組んでいる事業もございます。また、性質上、質の評価を行うことが困難な事業もございますが、質の評価は重要な評価指標であることから、今後、より分かりやすい内容、分かりやすい評価となるよう、評価シートの作成に努めてまいります。	
2	全体 評価について	コロナによる影響により事業実施ができなかったこと等を理由に評価がBからE等の評価にせざるを得ない点については、一定致し方ないと考える。	特に年に1回ないし数回のみ実施しているイベント等の事業は、コロナの影響を大きく受ける傾向にあります。今後もコロナの影響が続く可能性もあることから、その際にどのような対策ができるのか、引き続き検討してまいります。	
3	全体 事業内容について	計画の中で同じ事業内容が具体的施策は違えど何度も掲載されている。これらを統合できないか。	本計画は、各基本目標に具体的施策を設定し、これに各課の事業を紐づけております。例えば地域子育て支援拠点は、具体的施策「メンタルケアの充実」につながるとともに、「身近で遊べる場所の確保」にもつながることから、一つの事業が複数の具体的施策に紐づいております。このような理由から同一事業が複数回計上される場合がございますが、それぞれの基本目標等の達成状況の確認に必要な分類ですので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。	
4	個別事業 【具体的施策】問題事象の早期発見・対応 資料5 - 2 P2 【具体的施策】虐待防止のためのネットワーク強化 資料5 - 2 P144	要保護児童対策地域協議会の調整会議や検討会議をさらに充実した連携会議にするよう努めてほしい。また、学校訪問などで困っている子の早期発見・早期対応等未然防止対策としての学校のチーム力アップは有効である。	問題事象を早期発見し、対応・支援が行えるよう連携を図るとともに組織力の向上に努めます。	
5	個別事業 【具体的施策】いじめ防止対策の充実 資料5 - 2 P5 【取り組み内容】子どもの人権に関する普及と啓発 資料5 - 2 P6～9 【取り組み内容】DVの根絶と対応 資料5 - 2 P38～39 【具体的施策】性教育の推進 資料5 - 2 P28	「いじめ」に関しては法律の遵守、「子どもの人権」に関しては改正児童福祉法にそった啓発を進めること。また、学校教育では性教育も含めた人権教育、主権者教育が必要。単発の人権学習ではなく、大阪市立生野南小学校において6年間通して行われるような日々の教科の中で「命の安全教育」を含めた人権教育の取組が有効と考える。	いただいたご意見を踏まえ、いじめや子どもの人権に対する啓発、人権教育の推進に努めます。	

	意見項目	質問・意見等	回答	シート見直し
6	個別事業 【具体的施策】職員や教員の相談対応力の向上 資料5-2 P3	巡回訪問や家庭訪問をただでは実際に対応力の向上につながったのか分かりづらい。不登校の根本原因を早期に把握することが子どもたちの健やかな心身の成長に繋がるものと思われる。評価理由の見直しが必要では。	ご指摘を受け、評価シートの見直しを行います。	有
7	個別事業 【事業内容】犯罪被害者等見舞金・犯罪被害者等相談窓口の運用・関係機関と連携した犯罪被害者等支援の推進 資料5-2 P4	本事業は子どもに限らず犯罪被害に遭った方全員に対するものであることから、本計画に計上するのであれば、子どもに特化した内容の記載を検討すべきでは。	ご指摘を受け、評価シートの見直しを行います。	有
8	個別事業 【具体的施策】関係機関職員等の研修の充実と意識向上 他 資料5-2 P7他	研修や職員養成等は、コロナ禍でやりにくい事業であったことと思う。オンラインなども活用して実施できた事業もあると思うので、それらの経験を活用して今後も進めてほしい。	研修等の実施により、職員の資質向上を行うことは市民サービス、子育て支援策の充実につながることから、実施方法等を検討しながら、今後も推進してまいります。	
9	個別事業 【具体的施策】ノーマライゼーションの普及・啓発の推進 資料5-2 P9	障害を持って生まれる子どもに対して、ノーマライゼーションの普及と啓発の推進が重要。障害を「個性」ととらえ、それを周りにも理解してもらうためにも、個性を大切にすると啓発を充実していただきたい。	今後も引き続き、関係団体のご意見などを伺いながら、ノーマライゼーションの普及と啓発に努めてまいります。	
10	個別事業 【事業内容】保育士(保育教諭)・教員の連携・研修・情報交換 資料5-2 P11、14、18 資料5-3 P2	教育・保育要録の作成にあたっては、同じ規格で作成するとともに、就学前施設の公立・私立を問わず、小学校との連携を進めてほしい。また、教育・保育要録の作成を評価理由の一つとしている事業があるが、要録の作成は法令上義務付けられているものであるため、適切でないのでは。	教育・保育要録の作成にあたっては、同じ規格となるよう統一化し、小学校との連携を進めていきます。また、法令上義務付けられている要録の作成を評価理由としていることについてのご意見を受け、シートの見直しを行います。	有
11	個別事業 【具体的施策】教員の連携・研修・情報交換 資料5-2 P14	課題として、公立幼稚園と小学校との連携を更に強化することとしているが、私立幼稚園との連携がどうなっているのかが不明瞭。	公立幼稚園での取組の成果を、宇治市幼小合同研修講座や宇治市幼児教育研修講座等を通じて、私立幼稚園を含む他の就学前施設に発信していくことで、今後も継続して、連携してまいりたいと考えております。	
12	個別事業 【具体的施策】幼稚園・保育所・認定こども園と小学校等との円滑な接続の推進 資料5-2 P14、P18	全園にアプローチカリキュラム、全校にスタートカリキュラム作成に係る取組・仕組み・責任者・担当者を配置するなどし、それぞれの実践事例を共有し、より良いカリキュラムの作成や実践の資源にしていったり、共同研究チーム等を立ち上げるなどし、誰一人取り残されることのないよう、SDGsの理念・目標と合致した質の高い教育保育が実現することを望む。	ご意見をもとに質の高い教育・保育の実現のために幼稚園・保育所・認定こども園と小学校等とのより一層の連携を図ります。	

意見項目		質問・意見等	回答	シート見直し
13	個別事業 【具体的施策】新しい教育環境の整備 資料5-2 P16	学校においてタブレットを早期に整備されたことは評価できるが、活用しきれていない。別の地域の学校ですでにリモート授業をしているとも聞く。せっかく整備したタブレットを有効に活用できるよう体制構築してほしい。	タブレットを有効に活用できるよう、体制・環境整備に努めてまいります。	
14	個別事業 【事業内容】地域子育て支援拠点における栄養士による相談 資料5-2 P27	栄養士による相談に固執しないのであれば、U-CHAに加入する団体の協力を得るなどの検討をしてみてもいい。	いただいたご意見を参考に、U-CHAの加盟団体への協力依頼等を含めて検討させていただきます。	
15	個別事業 【事業内容】各校の性に関する教育の充実に向けての指導助言 資料5-2 P28	児童生徒を取り巻く生殖や性に関する価値観や多様な意見のある中で大変難しい学習であると考えますが、課題が特になしとなっているところに違和感がある。	性に関する教育は大変難しい内容ではございますが、学校教育においては学習指導要領に基づき計画を立てて行っており、現在のところ大きな課題はないと認識しております。	
16	個別事業 【事業内容】中学校昼食提供事業・中学校給食準備事業 資料5-2 P28	中学校給食については早期実現を求める声があるが、実施の目的は立っているのか。給食センターができるまでの間は、中学校昼食提供事業を継続するべき。	中学校給食については、可能な限り早期の実施を目指して検討を進めているところでございます。また、中学校給食実施までの間、中学校昼食提供事業について、継続に努めてまいります。	
17	個別事業 【事業内容】健康教育・骨粗しょう症予防対策・健康相談・各種がん検診 資料5-2 P32	評価基準としては子育て期の親へどのような参加促進ができたのか、内容を充実させることができたのかということについて評価すべきでは。	各種がん検診事業にて、子育て期の年齢に該当する対象者に対し個別に勧奨できないか等、より内容を充実されるよう検討してまいります。	
18	個別事業 【事業内容】こども家庭相談・地域子育て支援拠点の開設、来庁者子育て支援コーナー 資料5-2 P33	継続的な周知のツールとして市民カレンダーを列挙しているが随分前に廃止されており、不適切である。	ご指摘のとおり、市民カレンダーは平成29年度版で終了しており、以降はくらしの便利帳として隔年で発行しております。本標記は不適切であり、修正致します。	有
19	個別事業 【事業内容】宇治市子育て情報誌による情報提供 資料5-2 P37	情報誌だけでなく、LINEでの発信も組み入れる方がよいのではないかと、LINE登録数も一つの指標となるのでは。	LINE登録数のうち、本計画の対象となるような方の抽出が可能か等を含めて検討させていただきます。	
20	個別事業 【事業内容】妊娠・産後支援事業 資料5-2 P43 資料5-3 P16	ハイリスク妊婦全員に訪問できているのか不明なのでハイリスク妊婦の総数を記載し、その率を成果・実績にしてみてもいい。	成果・実績が評価しやすいよう実績値を変更します。	有
		医療機関との連携は大変重要になる中、個人情報の取扱い		

	意見項目	質問・意見等	回答	シート見直し
21	個別事業 【事業内容】医療機関との連携 資料5 - 2 P44	については部局横断的な取組が必要であるし、その重要性を担当課の課題だけで留めておくべきではない。加えて法整備が必要であれば国への要望をすべきである。	ご意見を参考に情報共有のあり方について、検討してまいります。	
22	個別事業 【具体的施策】人にやさしい道路整備 資料5 - 2 P61	視覚障害者誘導ブロックについて、市内の誘導ブロックは欠けていたりするケースが多いが改善はされていくのか。また、段差のきつい歩道もあるが、バリアフリーに向けての施策は実施しているのか。	視覚障害者誘導用ブロック等の破損につきましては、日常のパトロールや市民の皆様から得た情報により、順次補修を行うようにしております。また、視覚障害者誘導用ブロックの設置や歩道のバリアフリー化につきましては、主に宇治市交通バリアフリー構想の重点整備地区である基本構想が策定されている宇治、大久保、木幡、黄檗、伊勢田の5地区において整備を進めております。	
23	個別事業 【事業内容】名木百選保全事業等 資料5 - 2 P80	成果・実績、評価・課題それぞれが子ども子育て支援事業計画になじまないものではないかと感じる。	ご指摘に基づき、評価シートの見直しを行います。	有
24	個別事業 【具体的施策】雨の日に遊べる場所の確保 資料5 - 2 P81	市内に10か所の拠点があり、それぞれ様々な取組をしていることは嬉しいが、自家用車での利用ができなかったり駐車場が有料だったり、雨の日に少し利用しにくい拠点もある。また、八幡市の「すくすくの社」や城陽市の「文化パルク城陽」、亀岡市の「かめまるランド」などのような大型の拠点が宇治市内にもあると子育てをする親にとって強い味方になると感じる。	地域子育て支援拠点は、限られたスペースで実施している関係上、自家用車での来所が難しかったり、駐車料金をいただいている拠点がございます。また大規模の拠点につきましても同様に施設面での整備が必要であることから、すぐにご意見を反映することは難しい面もございますが、今後拠点のあり方を検討する上での参考にさせていただきます。	
25	個別事業 【事業内容】地域子育て支援拠点事業 資料5 - 2 P81	市内の子育て支援拠点は数的にはほぼ網羅できている。次は土日開設や外遊びさせにくい時期(夏・冬季)の充実が求められるのではないかと。また、ママ友サークルやグループへの場所貸しなどをしていてもよいのではないかと。	より活用しやすい地域子育て支援拠点となるよう、各拠点においても様々な取組をしているところですが、さらに利用していただきやすい拠点となるよう、さらなる取組を検討してまいります。一部拠点については子育てサークルの活動の場ともなっていますが、今後も引き続き子育て世代の方々が増え、ご利用しやすい環境づくりに努めてまいります。	
26	個別事業 【具体的施策】公共施設へのプレイコーナー等設置 資料5 - 2 P85	市役所を利用する際に子どもを一時預かりしてくれる場所は親としても大変助かっている。	来庁者子育て支援コーナーは、来庁者の子どもの一時預かりを行うとともに、子育てに関する相談業務も行っており、好評をいただいております。今後も継続実施し、子育て世代の申請手続き等の支援を行うとともに、子育て支援策の情報発信に努めてまいります。	
27	個別事業 【事業内容】子ども手づくり文化祭 資料5 - 2 P100	「新型コロナウイルスの影響により中止」との報告となっているが、「多くの方に喜んでいただいているため」との理由でA評価	例年は多くの方々に喜んでいただいているイベントでございますが、令和2年度については新型コロナウイルスの影響により中止したため、他の中止事業と同様の評価に評価シートを目	有

意見項目		質問・意見等	回答	シート見直し
	資料5-2-P109		中止したため、他の中止事業と同様の評価に評価シートの見直しを行います。	
28	個別事業 【具体的施策】療育事業の充実 資料5-2 P153	療育を必要としても受けられずにいる子どもたちが多くいるのではないかと。コロナの影響もあり、事業を更に広げることは難しいとは思いますが、特に未就園児はコロナで余計に集団で学べる機会が減っているように思う。子どもの発達に不安を抱えている家族が、希望すれば療育を受けられる環境、療育の入所が難しければ例えばコアラ教室の期間や回数を増やす、もしくは療育以外でも学べる場を紹介してもらえるなどの工夫をしてもらえると助かる。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、施設見学等の見送り等を余儀なくされましたが、今後どのような対応が可能か検討するとともに、関係課とも調整しながら引き続き療育事業の充実に努めてまいります。	
29	個別事業 【事業内容】障害児通所給付等 資料5-2 P157	障害のあるなしにかかわらず、子どもの成長には保護者との協働が必須である。いずれの課が関わるにしても、それを心がけてほしい。	ご指摘のとおり、子どもの成長には保護者の理解と協力が必要不可欠のもので、障害の有無にかかわらず、関係課含め真摯に対応するよう努めてまいります。	
30	個別事業 【具体的施策】家庭での教育力を高める支援 【事業内容】小学生の親のための講座 資料5-3 P5	講座を開催することは良いことだと思うが、仕事や生活の関係で参加しなくてもできない人のために、予算の関係もあると思うが講座内容を漫画にするなど小冊子化して読んでもらうのもよいのではないかと。	いただきましたご意見も参考にしながら、より多くの保護者の方々に周知し、家庭学習の支援につながる取組の検討に努めてまいります。	
31	個別事業 【具体的施策】問題事象の早期発見・対応 資料5-3 P59	こども福祉課や教育支援課等との連携にあたっては、京都府から派遣されているスクールソーシャルワーカー(まなび・生活アドバイザー)やスクールカウンセラーをもっと活用すべき。限られた財源の中で今いる人材の有効活用が必須。国の子どもの貧困対策大綱では、学校をプラットフォームとして位置づけているので、この仕組みを有効利用すべき。	現在も問題事象の早期発見、対応・支援のためにスクールソーシャルワーカーとの連携を行っているところでございますが、さらなる連携強化に努めてまいります。	
32	その他 評価について	学校教育課の事業では課題なしが多く見て取れるが、本当に課題がないのか検証が必要では。	現状、それぞれの事業において、学校を含め適切に実施できており、大きな課題が無いものと認識しておりますが、各事業のさらなる充実に向けた取組が可能か等引き続き検討し、必要に応じて改善してまいりたいと考えております。	
33	その他 学校関連組織のあり方について	少年補導・青少年健全育成協議会・育友会を組織する方々の固定化や高齢化が課題となっている。組織再編や同様の取組を一本化するなど抜本的な見直しが必要では。	各団体におきましては、団体の独立性を尊重する観点からも市教委が介入できる範囲など、難しい部分もございますが、子ども達を守り、育てるために尽力していただいている団体でございますので、市教委としても何ができるのか、各団体のご意見を伺いながら検討してまいります。	
34	その他 保育要件の見直しについて	共働き世帯が多くなり、保育ニーズは高まるものの、コロナの影響や国の働き方改革の影響もあり、働き方の多様化が加速している。計画にもある夜間保育、休日保育、病児保育な	宇治市では就労に関する保育要件として、1日4時間以上、週4日以上、月60時間以上就労していることを要件として定	

意見項目		質問・意見等	回答	シート見直し
34	その他 保育要件の見直しについて	どの更なる検討とともに、現在の保育要件を見直すべきでは。他市町村では月の就労時間の基準のみとしているところもあることから、見直しを検討していただきたい。	めていますが、今後、他市町村の事例も参考にしながら保護者のニーズに沿った形となるよう検討してまいります。	
35	その他 公立保育所におけるおむつの取扱変更について	公立保育所において布おむつから紙おむつへの転換をすべきであると思うが、廃棄費用の問題もあると思う。廃棄費用を保護者負担するなどしてどこかの園で試行実施してみてもどうか。	これまでから宇治市の公立保育所では、布おむつの良さを大切に考え、布おむつを推奨しているところです。ただし、保護者からの要望などにより、紙おむつの使用も一部認めています。また、使用後の紙おむつは基本的に保護者に持ち帰ってもらっています。	

令和3年第1回宇治市子ども・子育て会議における委員意見と回答

資料1

回答課		意見項目		質問・意見等	回答	シート見直し
1	こども福祉課	全体	評価について (複数委員からの意見をまとめています)	対象年齢や対象者が曖昧な事業や、子育て世代以外も含めたような評価となっている事業など、分かりづらいものがある。また実績値の多い、少ない等の量による評価だけでなく、質も含めた評価も重要では。	本計画は、対象年齢を18歳未満までとしておりますが、事業によっては子育て世代に特化したものではない事業や幅広い年代に対し、全市的に取り組んでいる事業もございます。また、性質上、質の評価を行うことが困難な事業もございますが、質の評価は重要な評価指標であることから、今後、より分かりやすい内容、分かりやすい評価となるよう、評価シートの作成に努めてまいります。	
2	こども福祉課	全体	評価について	コロナによる影響により事業実施ができなかったこと等を理由に評価がBからE等の評価にせざるを得ない点については、一定致し方ないと思う。	特に年に1回ないし数回のみ実施しているイベント等の事業は、コロナの影響を大きく受ける傾向にあります。今後もコロナの影響が続く可能性もあることから、その際にどのような対策ができるのか、引き続き検討してまいります。	
3	こども福祉課	全体	事業内容について	計画の中で同じ事業内容が具体的施策は違えど何度も掲載されている。これらを統合できないか。	本計画は、各基本目標に具体的施策を設定し、これに各課の事業を紐づけております。例えば地域子育て支援拠点は、具体的施策「メンタルケアの充実」につながることも、「身近で親で遊べる場所の確保」にもつながることから、一つの事業が複数の具体的施策に紐づいております。このような理由から同一事業が複数回計上される場合がございますが、それぞれの基本目標等の達成状況の確認に必要な分類ですので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。	
4	こども福祉課 教育支援課	個別事業	【具体的施策】問題事象の早期発見・対応 資料5 - 2 P2 【具体的施策】虐待防止のためのネットワーク強化 資料5 - 2 P144	要保護児童対策地域協議会の調整会議や検討会議をさらに充実した連携会議にするよう努めてほしい。また、学校訪問などで困っている子の早期発見・早期対応等未然防止対策としての学校のチーム力アップは有効である。	問題事象を早期発見し、対応・支援が行えるよう連携を図るとともに組織力の向上に努めます。	
5	こども福祉課 人権啓発課 学校教育課 男女共同参画課	個別事業	【具体的施策】いじめ防止対策の充実 資料5 - 2 P5 【取り組み内容】子どもの人権に関する普及と啓発 資料5 - 2 P6 ~ 9 【取り組み内容】DVの根絶と対応 資料5 - 2 P38 ~ 39 【具体的施策】性教育の推進 資料5 - 2 P28	「いじめ」に関しては法律の遵守、「子どもの人権」に関しては改正児童福祉法にそった啓発を進めること。また、学校教育では性教育も含めた人権教育、主権者教育が必要。単発の人権学習ではなく、大阪市立生野南小学校において6年間通して行われるような日々の教科の中で「命の安全教育」を含めた人権教育の取組が有効と考える。	いただいたご意見を踏まえ、いじめや子どもの人権に対する啓発、人権教育の推進に努めます。	

	回答課	意見項目	質問・意見等	回答	シート見直し
6	教育支援課	個別事業 【具体的施策】職員や教員の相談対応力の向上 資料5 - 2 P3	巡回訪問や家庭訪問をただけでは実際に対応力の向上につながったのか分かりづらい。不登校の根本原因を早期に把握することが子どもたちの健やかな心身の成長に繋がるものと思われる。評価理由の見直しが必要では。	ご指摘を受け、評価シートの見直しを行います。	有
7	総務課	個別事業 【事業内容】犯罪被害者等見舞金・犯罪被害者等相談窓口の運用・関係機関と連携した犯罪被害者等支援の推進 資料5 - 2 P4	本事業は子どもに限らず犯罪被害に遭った方全員に対するものであることから、本計画に計上するのであれば、子どもに特化した内容の記載を検討すべきでは。	ご指摘を受け、評価シートの見直しを行います。	有
8	こども福祉課 他	個別事業 【具体的施策】関係機関職員等の研修の充実と意識向上 他 資料5 - 2 P7他	研修や職員養成等は、コロナ禍でやりにくい事業であったことと思う。オンラインなども活用して実施できた事業もあると思うので、それらの経験を活用して今後も進めていってほしい。	研修等の実施により、職員の資質向上を行うことは市民サービス、子育て支援策の充実につながるから、実施方法等を検討しながら、今後も推進してまいります。	
9	人権啓発課 障害福祉課	個別事業 【具体的施策】ノーマライゼーションの普及・啓発の推進 資料5 - 2 P9	障害を持って生まれる子どもに対して、ノーマライゼーションの普及と啓発の推進が重要。障害を「個性」ととらえ、それを周りにも理解してもらうためにも、個性を大切にすることを充実していただきたい。	今後も引き続き、関係団体のご意見などを伺いながら、ノーマライゼーションの普及と啓発に努めてまいります。	
10	保育支援課	個別事業 【事業内容】保育士(保育教諭)・教員の連携・研修・情報交換 資料5 - 2 P11、14、18 資料5-3 P2	教育・保育要録の作成にあたっては、同じ規格で作成するとともに、就学前施設の公立・私立を問わず、小学校との連携を進めてほしい。また、教育・保育要録の作成を評価理由の一つとしている事業があるが、要録の作成は法令上義務付けられているものであるため、適切でないのでは。	教育・保育要録の作成にあたっては、同じ規格となるよう統一化し、小学校との連携を進めていきます。また、法令上義務付けられている要録の作成を評価理由としていることについてのご意見を受け、シートの見直しを行います。	有
11	学校教育課	個別事業 【具体的施策】教員の連携・研修・情報交換 資料5 - 2 P14	課題として、公立幼稚園と小学校との連携を更に強化することとしているが、私立幼稚園との連携がどうなっているのかが不明瞭。	公立幼稚園での取組の成果を、宇治市幼小合同研修講座や宇治市幼児教育研修講座等を通じて、私立幼稚園を含む他の就学前施設に発信していくことで、今後も継続して、連携してまいりたいと考えております。	
12	保育支援課 学校教育課	個別事業 【具体的施策】幼稚園・保育所・認定こども園と小学校等との円滑な接続の推進 資料5 - 2 P14、P18	全園にアプローチカリキュラム、全校にスタートカリキュラム作成に係る取組・仕組み・責任者・担当者を配置するなどし、それぞれの実践事例を共有し、より良いカリキュラムの作成や実践の資源にいたり、共同研究チーム等を立ち上げるなどし、誰一人取り残されることのないよう、SDGsの理念・目標と合致した質の高い教育保育が実現することを望む。	ご意見をもとに質の高い教育・保育の実現のために幼稚園・保育所・認定こども園と小学校等とのより一層の連携を図ります。	

	回答課	意見項目	質問・意見等	回答	シート見直し
13	学校教育課 学校管理課	個別事業 【具体的施策】新しい教育環境の整備 資料5-2 P16	学校においてタブレットを早期に整備されたことは評価できるが、活用しきれていない。別の地域の学校ですすでにリモート授業をしているとも聞く。せっかく整備したタブレットを有効に活用できるよう体制構築してほしい。	タブレットを有効に活用できるよう、体制・環境整備に努めてまいります。	
14	こども福祉課	個別事業 【事業内容】地域子育て支援拠点における栄養士による相談 資料5-2 P27	栄養士による相談に固執しないのであれば、U-CHAに加入する団体の協力を得るなどの検討をしてみてもは。	いただいたご意見を参考に、U-CHAの加盟団体への協力依頼等を含めて検討させていただきます。	
15	学校教育課	個別事業 【事業内容】各校の性に関する教育の充実に向けての指導助言 資料5-2 P28	児童生徒を取り巻く生殖や性に関する価値観や多様な意見のある中で大変難しい学習であると考えるが、課題が特にならなっているところに違和感がある。	性に関する教育は大変難しい内容ではございますが、学校教育においては学習指導要領に基づき計画を立てて行っており、現在のところ大きな課題はないと認識しております。	
16	学校管理課	個別事業 【事業内容】中学校昼食提供事業・中学校給食準備事業 資料5-2 P28	中学校給食については早期実現を求める声があるが、実施の用途は立っているのか。給食センターができるまでの間は、中学校昼食提供事業を継続するべき。	中学校給食については、可能な限り早期の実施を目指して検討を進めているところでございます。また、中学校給食実施までの間、中学校昼食提供事業について、継続に努めてまいります。	
17	健康づくり推進課	個別事業 【事業内容】健康教育・骨粗しょう症予防対策・健康相談・各種がん検診 資料5-2 P32	評価基準としては子育て期の親へどのような参加促進ができたのか、内容を充実させることができたのかということについて評価すべきでは。	各種がん検診事業にて、子育て期の年齢に該当する対象者に対し個別に勧奨できないか等、より内容を充実されるよう検討してまいります。	
18	こども福祉課	個別事業 【事業内容】こども家庭相談・地域子育て支援拠点の開設、来庁者子育て支援コーナー 資料5-2 P33	継続的な周知のツールとして市民カレンダーを列挙しているが随分前に廃止されており、不適切である。	ご指摘のとおり、市民カレンダーは平成29年度版で終了しており、以降はくらしの便利帳として隔年で発行しております。本標記は不適切であり、修正致します。	有
19	こども福祉課	個別事業 【事業内容】宇治市子育て情報誌による情報提供 資料5-2 P37	情報誌だけでなく、LINEでの発信も組み入れる方がよいのではないかと、LINE登録数も一つの指標となるのでは。	LINE登録数のうち、本計画の対象となるような方の抽出が可能か等を含めて検討させていただきます。	
20	保健推進課	個別事業 【事業内容】妊娠・産後支援事業 資料5-2 P43 資料5-3 P16	ハイリスク妊婦全員に訪問できているのか不明なのでハイリスク妊婦の総数を記載し、その率を成果・実績にしてみてもは。	成果・実績が評価しやすいよう実績値を変更します。	有
			医療機関との連携は大変重要になる中、個人情報の取扱い		

	回答課	意見項目	質問・意見等	回答	シート見直し
21	こども福祉課	個別事業 【事業内容】医療機関との連携 資料5-2 P44	については部局横断的な取組が必要であるし、その重要性を担当課の課題だけで留めておくべきではない。加えて法整備が必要であれば国への要望をすべきである。	ご意見を参考に情報共有のあり方について、検討してまいります。	
22	道路建設課	個別事業 【具体的施策】人にやさしい道路整備 資料5-2 P61	視覚障害者誘導ブロックについて、市内の誘導ブロックは欠けていたりするケースが多いが改善はされていくのか。また、段差のきつい歩道もあるが、バリアフリーに向けての施策は実施しているのか。	視覚障害者誘導ブロック等の破損につきましては、日常のパトロールや市民の皆様から得た情報により、順次補修を行うようにしております。また、視覚障害者誘導ブロックの設置や歩道のバリアフリー化につきましては、主に宇治市交通バリアフリー構想の重点整備地区である基本構想が策定されている宇治、大久保、木幡、黄檗、伊勢田の5地区において整備を進めております。	
23	公園緑地課	個別事業 【事業内容】名木百選保全事業等 資料5-2 P80	成果・実績、評価・課題それぞれが子ども子育て支援事業計画になじまないものではないかと感じる。	ご指摘に基づき、評価シートの見直しを行います。	有
24	こども福祉課	個別事業 【具体的施策】雨の日に遊べる場所の確保 資料5-2 P81	市内に10か所の拠点があり、それぞれ様々な取組をしていることは嬉しいが、自家用車での利用ができなかったり駐車場が有料だったり、雨の日に少し利用しにくい拠点もある。また、八幡市の「すくすくの社」や城陽市の「文化パルク城陽」、亀岡市の「かめまるランド」などのような大型の拠点が宇治市内にもあると子育てをする親にとって強い味方になると感じる。	地域子育て支援拠点は、限られたスペースで実施している関係上、自家用車での来所が難しかったり、駐車料金をいただいている拠点がございます。また大規模の拠点につきましても同様に施設面での整備が必要であることから、すぐにご意見を反映することは難しい面もございますが、今後拠点のあり方を検討する上での参考にさせていただきます。	
25	こども福祉課	個別事業 【事業内容】地域子育て支援拠点事業 資料5-2 P81	市内の子育て支援拠点は数的にはほぼ網羅できている。次は土日開設や外遊びさせにくい時期(夏・冬季)の充実が求められるのではないかと。また、ママ友サークルやグループへの場所貸しなどをしていてもよいのではないかと。	より活用しやすい地域子育て支援拠点となるよう、各拠点においても様々な取組をしているところですが、さらに利用していただきやすい拠点となるよう、さらなる取組を検討してまいります。一部拠点については子育てサークルの活動の場ともなっていますが、今後も引き続き子育て世代の方々で活動しやすい、ご利用しやすい環境づくりに努めてまいります。	
26	こども福祉課	個別事業 【具体的施策】公共施設へのプレイコーナー等設置 資料5-2 P85	市役所を利用する際に子どもを一時預かりしてくれる場所は親としても大変助かっている。	来庁者子育て支援コーナーは、来庁者の子どもの一時預かりを行うとともに、子育てに関する相談業務も行っており、好評をいただいております。今後も継続実施し、子育て世代の申請手続き等の支援を行うとともに、子育て支援策の情報発信に努めてまいります。	
27	生涯学習課	個別事業 【事業内容】子ども手づくり文化祭 資料5-2 P100	「新型コロナウイルスの影響により中止」との報告となっているが、「多くの方に喜んでいただいているため」との理由でA評価	例年は多くの方々に喜んでいただいているイベントでございますが、令和2年度については新型コロナウイルスの影響により中止のため、他の中止事業と同様の評価に評価シートは	有

回答課	意見項目	質問・意見等	回答	シート見直し
	資料5-2 P109	となっていることに違和感を感じる。	中止のため、他の中止事業と同様の評価に評価シートの見直しを行います。	
28 障害福祉課	個別事業 【具体的施策】療育事業の充実 資料5-2 P153	療育を必要としても受けられずにいる子どもたちが多くいるのではないかと、コロナの影響もあり、事業を更に広げることは難しいとは思いますが、特に未就園児はコロナで余計に集団で学べる機会が減っているように思う。子どもの発達に不安を抱えている家族が、希望すれば療育を受けられる環境、療育の入所が難しければ例えばコアラ教室の期間や回数を増やす、もしくは療育以外でも学べる場を紹介してもらえるなどの工夫をしてもらえると助かる。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、施設見学等の見送り等を余儀なくされましたが、今後どのような対応が可能か検討するとともに、関係課とも調整しながら引き続き療育事業の充実に努めてまいります。	
29 こども福祉課 障害福祉課	個別事業 【事業内容】障害児通所給付等 資料5-2 P157	障害のあるなしにかかわらず、子どもの成長には保護者との協働が必須である。いずれの課が関わるにしても、それを心がけてほしい。	ご指摘のとおり、子どもの成長には保護者の理解と協力が必要不可欠のもので、障害の有無にかかわらず、関係課含め真摯に対応するよう努めてまいります。	
30 生涯学習センター	個別事業 【具体的施策】家庭での教育力を高める支援 【事業内容】小学生の親のための講座 資料5-3 P5	講座を開催することは良いことだと思うが、仕事や生活の関係で参加したくてもできない人のために、予算の関係もあるとは思いますが講座内容を漫画にするなど小冊子化して読んでもらうのもよいのではないかと。	いただきましたご意見も参考にしながら、より多くの保護者の方々に周知し、家庭学習の支援につながる取組の検討に努めてまいります。	
31 こども福祉課 教育支援課	個別事業 【具体的施策】問題事象の早期発見・対応 資料5-3 P59	こども福祉課や教育支援課等との連携にあたっては、京都府から派遣されているスクールソーシャルワーカー(まなび・生活アドバイザー)やスクールカウンセラーをもっと活用すべき。限られた財源の中で今いる人材の有効活用が必須。国の子どもの貧困対策大綱では、学校をプラットフォームとして位置づけているので、この仕組みを有効利用すべき。	現在も問題事象の早期発見、対応・支援のためにスクールソーシャルワーカーとの連携を行っているところでございますが、さらなる連携強化に努めてまいります。	
32 学校教育課	その他 評価について	学校教育課の事業では課題なしが多く見て取れるが、本当に課題がないのか検証が必要では。	現状、それぞれの事業において、学校含め適切に実施できており、大きな課題が無いものと認識しておりますが、各事業のさらなる充実に向けた取組が可能か等引き続き検討し、必要に応じて改善してまいりたいと考えております。	
33 教育支援課	その他 学校関連組織のあり方について	少年補導・青少年健全育成協議会・育友会を組織する方々の固定化や高齢化が課題となっている。組織再編や同様の取組を一本化するなど抜本的な見直しが必要では。	各団体におきましては、団体の独立性を尊重する観点からも市教委が介入できる範囲など、難しい部分もございますが、子ども達を守り、育てるために尽力していただいている団体でございますので、市教委としても何ができるのか、各団体のご意見を伺いながら検討してまいります。	
34 保育支援課	その他 保育要件の見直しについて	共働き世帯が多くなり、保育ニーズは高まるものの、コロナの影響や国の働き方改革の影響もあり、働き方の多様化が加速している。計画にもある夜間保育、休日保育、病児保育な	宇治市では就労に関する保育要件として、1日4時間以上、週4日以上、月60時間以上就労していることを要件として定	

	回答課	意見項目		質問・意見等	回答	シート見直し
34	保育支援課	その他	保育要件の見直しについて	どの更なる検討とともに、現在の保育要件を見直すべきでは。他市町村では月の就労時間の基準のみとしているところもあることから、見直しを検討していただきたい。	めていますが、今後、他市町村の事例も参考にしながら保護者のニーズに沿った形となるよう検討してまいります。	
35	保育支援課	その他	公立保育所におけるおむつの取扱変更について	公立保育所において布おむつから紙おむつへの転換をすべきであると思うが、廃棄費用の問題もあると思う。廃棄費用を保護者負担するなどしてどこかの園で試行実施してみてもどうか。	これまでから宇治市の公立保育所では、布おむつの良さを大切に考え、布おむつを推奨しているところです。ただし、保護者からの要望などにより、紙おむつの使用も一部認めています。また、使用後の紙おむつは基本的に保護者に持ち帰ってもらっています。	